

プラごみバスターズ大作戦

10月16日、真宮島近くの海岸で、「プラごみバスターズ大作戦」と銘打って、海岸の清掃活動が行われました。

これは、環境意識を高めようとボーイスカウト日本連盟が主催したもので、岩国や柳井のボーイスカウト、協賛のセブン-イレブン記念財団ならびにセブン-イレブン・ジャパン本社と県内店舗や大島商船高専の学生、地域のボランティアの方など総勢164人の方が参加しました。

参加者は、海岸に漂着したごみを集め清掃活動を行うとともに、集めたプラごみ等をリサイクルできるように、種類別に分ける作業を行いました。



▲漂着したごみを集め、海岸清掃を行う参加者の皆さん

たくさん掘れました

10月24日、小松開作で明新小学校の1・2年生と中保育園の園児が地元の老人クラブの皆さんとサツマイモの収穫を行いました。

これは地域連携教育の一環として行われており、老人クラブの協力を得て、6月に苗を植え、間で草取りを行い、このたびの収穫となりました。

収穫したサツマイモは、11月に焼きいもにして食べるとのことです。



▲サツマイモの収穫を行った明新小学校1・2年生、中保育園の園児と地元の老人クラブの皆さん（たくさん収穫できました！）

はじめまして。9月1日に地域おこし協力隊に着任しました、岡本由紀子と申します。空家定住対策課にて定住促進などの業務に取り組んでまいります。

周防大島町は、母の生まれ故郷です。幼い頃は両親に連れられて、時々みかん畑の手伝いに来ていました。祖母がひとり暮らしで暮らしていた家は30年ほど前から空家となっていました。管理をするため父が通っていました。歳を重ねるうちに、朽ち果てるのを待つばかりの状態となっていました。

一方で、私は20年ほど前から宮城県に住んでいます。昨年5月、数年ぶりに祖母の家に足を運ぶ目にしたのは、草の生い茂った庭、藪になり海が見えなくなりました。幼かった頃のことか不思議なほどに浮かんできました。キラキ

地域おこし協力隊員 岡本由紀子の

しましまタイムズ

SHIMASHIMA TIMES

34

空家定住対策課

☎ 0820 (74) 1033



▲移住希望者へ説明を行う岡本さん㊦

ラと光る海、嵩山から降りてくる風、空を舞う鳥。主を失った家と畑は、「帰っておいで」と語りかけてくるようでした。

家族に相談し、仕事と生活を整理し、移住に向けて準備をしました。心配事はそっくり残されたままの祖母の家財と家屋の状態でした。実際に移住して家の片づけや修繕は大変でしたが、空家の再生に関わった経験を、協力隊の活動の中で活かしたいと思います。

また、移住前に島の情報を調べ、自分で目に留まったのは、島に竹やぶが多くなっているということでした。伐採をして処分するだけでなく、資源として利用する方法を、自分の活動として考えていきたいです。既に活動されている方々の仲間に加えていただけると幸いです。